

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部					
2-②	健康づくりを推進する		健康・子ども部、学校教育部、市民病院					
所管事業に関連する成果指標								
指標名	単位	計画 策定時	実績値				31年度 目標値	進捗 状況
			27年度	28年度	29年度	30年度		
がん検診の受診率	%	14.3	15.3	15.2	14.9	16.1	16.5	B
特定健康診査（こくほの健診）の受診率	%	31.7	33.0	33.0	33.1	34.2 (速報値)	39.0	C
関連事業								
○健康増進事業○特定健診・特定保健指導事業○食に関する指導事業○学校給食地場産野菜等使○高度医療器械等整備事業○災害時医療提供推進事業○市民病院整備事業○救命救急センター運用事業								
決算額								
	28年度		29年度		30年度		31年度	
事業費(千円)	2,327,484		2,548,236		1,083,645*			
執行率(%)	65.26		83.84		82.99*			
施策の推進に向けた主な取組の「成果」								
<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院では、計画的に高度医療器械等を導入するとともに、水害を想定した地域住民参加の災害対応訓練を実施しました。また、新棟建築を含む市民病院整備事業は平成31年3月に完了し、救命救急センター運用事業においては、救急搬送が必要な患者を積極的に受け入れ、「断らない救急」を実践しました。 ・特定健康診査について、未受診者には電話で受診勧奨を実施し、電話で対話できた方の約5割が受診し、また、糖尿病の重症化の恐れのある受診者には生活習慣の改善を図り、集団指導に応じた方の約7割に数値の改善が見られました。 ・学校給食の安心・安全を維持するとともに、学校現場において食に関する指導を円滑に実施しました。 								

※ 「救命救急センター運用事業」の事業費については、当該事業に係る事業費のみを抽出できないため、事業費と執行率には含まれていません。

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・ 市民病院では、先進の医療水準を確保するため、高度医療器械等の計画的、効率的な更新及び導入が必要になります。また、災害拠点病院としての役割を果たすため、全病院職員対象の災害対応医療訓練を推進し、災害時の対応能力を向上させる必要があります。
⇒ 最少の経費で最大の効果が得られるよう、厳選した高度医療器械等の導入により医療水準を向上させ、救命救急センター運用事業においては、今後も、救急搬送が必要な患者を積極的に受け入れ、「断らない救急」を実践します。また、災害対応医療訓練、大規模地震時医療活動訓練に参加する職員を充実させ、地域住民の参加を促します。
- ・ がん検診や特定健康診査の受診率向上を図る必要があります。
⇒ がん検診や特定健康診査の受診の必要性について、普及啓発を行うとともに、未受診者には医療機関を通じた受診勧奨や機会を捉えた意識づけなどを実施します。
- ・ 食に関する指導について、ニーズや新たな課題に対応する必要があります。
⇒ 食教育ネットワークを充実させるとともに、栄養士研修会を実施します。